

平成 31 年 3 月 22 日
福岡管区気象台
長崎地方気象台

平成 31 年 3 月 21 日に長崎市で発生した 副振動（あびき）に関する現地調査報告（速報）

長崎市では、3月21日（木）の夜のはじめ頃から副振動（あびき）に起因すると思われる顕著な海面昇降が発生し、長崎港周辺の各地で道路冠水による交通障害などが発生しました。

このため、長崎地方気象台と福岡管区気象台では、職員9名を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、副振動（あびき）に関する調査を実施しました。

調査の概要やこれまで得られた調査結果は以下のとおりです。

1 調査期間及び調査地点

調査期間：平成 31 年 3 月 22 日

調査地点：長崎県長崎市宝町、松が枝町、銅座町、旭町及び竹の久保町

2 調査実施機関

長崎地方気象台（2班6名）・福岡管区気象台（1班3名） 合計3班9名

3 調査内容

浸水の痕跡の測定、聞き取り調査などを行い、浸水地域における最高潮位の高さの推定等を行いました。

4 調査結果（速報値）

今回の浸水は、大潮の満潮時間帯に、副振動が重なり一時的に潮位が非常に高くなったことにより長崎市内で発生したと考えられます。

長崎検潮所の最高潮位は、標高 2.38m でした。2012 年 9 月 17 日 08 時 29 分台風第 16 号時に観測した過去最高潮位 2.19m を超えました。副振動の最大全振幅※は 105cm（周期約 30 分）でした。

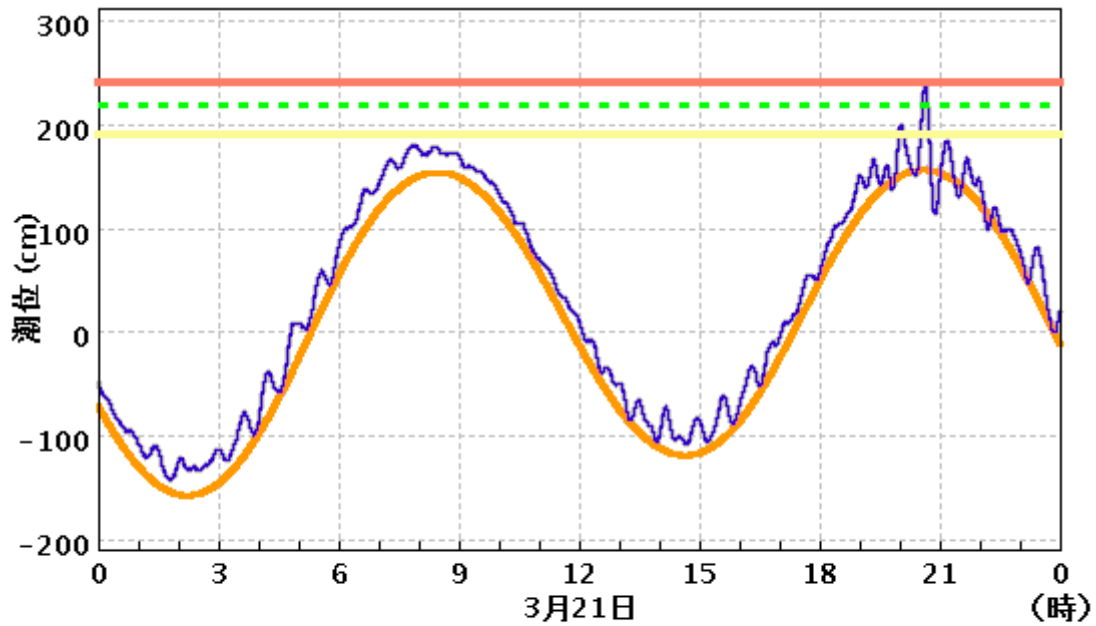
現地調査による最高潮位の高さは、長崎市宝町で標高 2.8m でした。なお、この値には±0.1m の誤差を含みます。

※ 全振幅とは海面昇降の山から谷または谷から山の高さを表します。

第1表 長崎港で観測した副振動の最大全振幅および最高潮位（速報値）

期間：平成31年3月21日

| 最大全振幅 | 周期 | 起時 | 最高潮位 | 起時 |
|--------|------|---------|-------|--------|
| 約105cm | 約30分 | 20時40分頃 | 2.38m | 20時37分 |



All rights reserved. Copyright © Japan Meteorological Agency

実際の潮位 — 高潮注意報基準 —
 天文潮位 — 高潮警報基準 —
 過去最高潮位(219cm:2012年09月17日08時29分:台風第16号) - - -

第1図 長崎港の潮位の推移

※この資料に掲載した値はいずれも速報値ですので、後日修正されることがあります。

問合せ先：長崎地方気象台 担当：田代

電話 095-811-4862

FAX 095-829-3242